

和歌山県立図書館「がん教育」関係図書コーナーのブックリスト（令和元年12月）

【コーナー設置及びブックリスト作成について】

1. がん教育関係計画等

- (1)がん対策推進基本計画(平成30年3月9日閣議決定)
- (2)学校におけるがん教育の在り方について報告(平成27年3月「がん教育」の在り方に関する検討会)
- (3)和歌山県長期総合計画2017年度～2026年度
- (4)第3期和歌山県教育振興基本計画2018年度～2022年度(2018(平成30)年3月 和歌山県・和歌山県教育委員会)
- (5)第3次和歌山県がん対策推進計画(平成30年3月 和歌山県)

2. コーナー設置及びブックリスト作成の目的

- (1)がん患者やその家族などのがんと向き合う気持ちを想像し理解を深めてもらうこと。
- (2)人の命の尊さや大切さを理解してもらうこと。
- (3)がんに関する知識や予防、検診等について正しく理解して健康に対する意識を高めてもらうこと。
- (4)日々、健康で生活できることが幸せであると感じとってもらうこと。
- (5)対象は子どもから大人までの全年齢層として、広く活用してもらうこと。

3. ブックリスト凡例

- (1)「(がん)ノンフィクション」・「(がん)読みもの・詩・作文」・「(がん)絵本」・「限りある命を考える」・「がんの知識」に区分します。
※「限りある命を考える」:命の尊さや大切さを感じたり、心を休めたりするための絵本等を選定
- (2)各区分において、出版年の古いものから配列しています。
- (3)「病名」については、図書内容に準じて記載しています。(死去された場合は、病名の後に(死去)と記載します。)
- (4)「対象」は、図書の内容から対象学年等を示しました。(あくまで目安として参考にしてください。)

4. 注意事項

がんの治療法は日々進歩しているので、図書の治療に関する記述には注意してください。

5. 資料選定の参考

- (1)愛媛県立図書館「子どもにがんを伝える本」(平成28年2月作成)
- (2)NPO法人Hope Tree 「迷ったときに手にする本」
- (3)特定非営利活動法人 日本医学図書館協会 医療・健康情報委員会ワーキンググループ「がん教育」に おすすめの図書

和歌山県立図書館 「がん教育」関係図書コーナーのブックリスト

(がん) ノンフィクション

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
1	ぼくはガンを克服した ～ある少年の生への闘い～	ジェイソン・ゲイズ／著 ティム・ゲイズ、アダム・ゲイズ／絵 国谷裕子／訳	日本放送出版協会	1989	がんを克服したジェイソン君が「ガンになった子がいつでも死ぬとは決まっていなかった」と、がんになった子どもや周囲の人を励まし勇気づけるためにできた本です。しかし、がん治療の苦しさや天国のことについても触れています。現実に向き合いつつ希望を持つことの大切さを訴えています。	子どものパーキットリンパ腫	小学生～	—	313115990	GK/49
2	ぼく、だいじょうぶだよ —暢君と5年3組のなかま—	赤佐小学校5年3組老川学級と暢君の家族／編	ポプラ社	1990	5年3組のみんなとまた一緒に勉強したり遊んだりしたいから、どんなにつらい治療でも「だいじょうぶ、だいじょうぶ」、お母さんを心配させないために最後まで「だいじょうぶ、だいじょうぶ」。そんな暢大(のぶひろ)くんは、みんなの心の中にいつまでも生き続けています。	子どもの骨肉腫(死去)	小学校高学年～	—	313640823	GK/916
3	お母さん、笑顔をありがとう! —白血病とたたかった少女真木の記録—	小川 陽子／文 田中 禎子／絵	借成社	1990	国本真木さん(当時小学6年生)は、お父さんが白血病で亡くなった4日後に同じ白血病と診断されました。母の由利子さんは「可能性が少しでもあるならどんな努力もしたい」と真木さんのドナーさがしに奔走します。後に全国的な骨髄バンクの設立を呼びかける活動をされます。そんなお母さんを真木さんは尊敬します。真木さんの最期の言葉「お母さん、ありがとう」を胸に秘め、由利子さんは活動を続けます。	白血病(死去)、 子どもの急性骨髄性白血病(死去)	小学校 中学年～	—	313641946	GK/916
4	パパ、泣かないで	植木 亜紀子／著 植木 誠／編著	教研学習社	1993	日記を書くことがあっちゃんにとって希望であり生きる力でしたが、8年間の闘病の末、11歳で天国へ行ってしまう。つらい病気との闘いの中でもいつも周囲への思いやりを忘れず、感謝の気持ちを持ち続けたあっちゃん。本書では、そんなあっちゃんと向き合えなかった父が償いの気持ちを込めてあっちゃんが残した日記をよみがえらせます。	子どもの白血病(死去)	小学校 中学年～	ノンフィクション(日記)	314316480	GK/49
5	命燃やす日々	マオ アキラ／著	文溪堂	1993	鴻農周策(こうのしゅうさく)さんは、多発性骨髄腫を患いながらもジャーナリストとして与えられた責務を全うします。障害のある人・未熟児の赤ちゃん・病気の人・高齢の人などの社会の課題に、人としてみんな同じ立場であるあることを訴える番組づくりに命をかけます。	多発性骨髄腫(死去)	小学校 高学年～	—	314340076	GK/916
6	種まく子供たち —小児がんを体験した七人の物語—	佐藤 律子／編	ポプラ社	2001	がんとう向き合う子どもに寄り添う親の心情が読みうかがえます。闘病する子どもたちは決して親への感謝を忘れません。「二人の子供に生まれてきて幸せだったよ」、「ありがとう、僕を生んでくれて…」。	子どもの膜肉腫(死去)・脳幹部グリオーマ(死去)・急性リンパ性白血病(死去)・急性骨髄性白血病・神経芽細胞腫	中学生～	—	315314435	GK/18.3
7	いのちのあさがお	あやの まさる／さく まつもと きょうこ／が たんご まみこ／かんしゅう	ハート出版	2001	コウスケくんが残してくれたあさがお。その小さい粒が「いのちのあさがお」となって、みんなに命の大切さを届けます。	子どもの急性リンパ性白血病(死去)	小学生 中学年～	絵本	322259755	GK/E

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
8	コウスケくんの青い空 —続 いのちのあさがお—	綾野 まさる／作 松本 恭子／画	ハート出版	2003	急性リンパ性白血病で亡くなった丹後光祐(たごこうすけ)くんが残したあさがおが、「いのちのあさがお」として多くの人に影響を与えます。光祐くんの死後、前を向いて生きる丹後家でありましたが、母のみみこさんが乳がんを患います。	子どもの急性リンパ性白血病(死去)・急性骨髄性白血病(死去)、乳がん	小学校 中学年～	—	320323249	GK/F
9	小さな勇士たち —小児病棟ふれあい日記—	NHK「こども」プロジェクト／著	日本放送出版協会	2003	聖路加国際病院小児病棟を1年間取材したドキュメント。小児がんなどで闘病する子どもが、入院して知り合った友だちと仲良くなり心の支えになっていきます。友だちが死ぬのはとても悲しいけれど、一緒に過ごしたこと、出会えたことは良かった。	子どもの神経芽細胞腫(死去)・悪性リンパ腫・骨肉腫(死去)・急性骨髄性白血病	小学校 中学年～	—	320373434	GK/494
10	いのちの作文 —難病の少女からのメッセージ—	綾野 まさる／作	ハート出版	2005	闘病がどんなに苦しくても感謝の気持ちを忘れなかった瞳ちゃん。幸せは“いまを生きること”と13年8か月の人生を精一杯生きました。	子どもの骨肉腫(死去)	小学校 高学年～	—	320783038	GK/28
11	さびしくないよ —翔太とイフポット—	牧野 節子／著	岩崎書店	2006	翔太くんは、14歳と5ヶ月の人生を生き抜いて、今、竜のように天空にのぼり、天から地上に愛をまいているのです。	子どもの急性リンパ性白血病(死去)	小学校 高学年～	—	321162059	GK/28
12	いのちのバトンリレー —臓器移植を乗り越えた少女と白血病の少年の物語—	関 朝之／作	ハート出版	2007	理恵ちゃんの臓器移植を成功させるために募金活動が始まります。一つの命を助けるために、多くの人が協力して絆となっていきます。募金活動の先頭に立った淑樹(よしき)くんは亡くなりますが、理恵ちゃんは淑樹くんの分まで生きる決意をします。	子どもの急性骨髄性白血病(死去)	小学校 中学年～	—	321128407	GK/916
13	ぼくの「生きる力」 —院内学級から小学校へ『直紀新聞』とどけま す—	あんず ゆき／文	佼成出版社	2007	「ぼくなんてこんな病気になってしもたんやろ」と9歳で亡くなった前田直紀くん。半分目を閉じた直紀くんがつぶやいた「みんな、ありがと。みんな、ごめんな」。お互い人を思いやる気持ちが「生きる力」になるのです。直紀くんは満月の「ブルームーン」を見ることはできなかったけれど、ブルームーンの光は直紀くんの声となって残された家族を温かく包みます。	子どもの横紋筋肉腫(死去)	小学校 中学年～	—	321139727	GK/916
14	夢を跳ぶ —パラリンピック・アスリートの挑戦—	佐藤 真海／著	岩波書店(岩波ジュニア新書)	2008	病気によって死を意識したことで、命の尊さと生きることのすばらしさを知った。お別れした病気仲間の大切なメッセージや出会った多くの人たちの支えによって、今の自分があることに感謝したい。	骨肉腫	中学生 ～	ノンフィクション(手記)	321161127	GK/78
15	あきらめないで —白血病と闘ったわたしの日々—	マルティナ・アマン／作 本田 雅也／訳	徳間書店	2009	7歳で白血病を発病、12歳で再発したマルティナは、痛みに耐える苦しい闘病においても勇気と希望を持ち続けるよう、「どんなことでも乗り越えてやりとげてみせるぞ」と、前向きに自分を奮い立たせます。日常生活から切り離された治療生活を送る子どもの心情が如実に語られています。	子どもの急性リンパ性白血病	小学校 高学年～	—	322188830	GK/946
16	6歳のお嫁さん —亡き娘から託された「いのちの授業」—	鈴木 中人／著	実業之日本社	2009	著者は、娘の景子さんをがんで亡くし、「いのちの授業」を始めます。いのちと向き合い、人が生きること、寄り添うこと、支え合うことを考えます。人は必ず死んでいきますが、心のいのちは永遠につながっていきます。	子どもの神経芽細胞腫(死去)	中学生 ～	—	316541671	GK/114

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
17	ホスピタルクラウン・Kちゃんが行く —笑って病気をぶっとばせ!—	あんず ゆき/文	佼成出版社	2010	ホスピタル・クラウンは、病院に行き入院中の人たちに笑いを届ける道化師のこと。日頃、重い病気と向き合っている子どもたちは、ホスピタル・クラウンが来るのを心待ちにしています。そこにあるのは“笑顔”、笑いの力です。	小児がん(白血病)など	小学校 中学年 ~	—	322238361	GK/916
18	甲子園がくれた命	中村 計/著	講談社	2011	脳腫瘍の手術を乗り越え、甲子園で活躍する山崎福也(さちや)君。病気を患っている全国の子どもを背負ってのプレーです。普通に野球ができることは幸せなことなのです。	子どもの脳腫瘍	小学生 高学年 ~	—	322254723	GK/78
19	あっこと僕らが生きた夏 —17歳女子マネージャーがナインに託した、 命のバトン—	有村 千裕/著	講談社	2011	「私の人生は野球なんよ」と、あっこ(大崎輝子さん)は野球部マネージャーとして命と引きかえにグラウンドに戻るため、がん治療の中止を決断します。友だちにも弱音を言わない強いあっこの生き方が、みんなに今を生きることの意味を伝え続けてくれます。	上咽頭がん (死去)	中学生 ~	—	321847725	GK/916
20	いのちつぐ「みとりびと」6 華蓮ちゃんさいこの家族旅行 「いのちのバトン」をみなの手	國森 康弘/写真・文	農山漁村文化協会	2014	華蓮(かれん)ちゃんが目標に立てた東京ディズニーランドへの家族旅行が実現します。華蓮ちゃんが生きた記録を写真でつづる絵本です。	子どもの脳腫瘍 (死去)	小学生 中学年 ~	ノンフィク ション(写真 絵本)	322311291	GK/49
21	いのちつぐ「みとりびと」7 ほくはクマムシになりたかった かあさんに残したさいこの笑顔	國森 康弘/写真・文	農山漁村文化協会	2014	母さん、いのちをさずけてくれてありがとう。せめて母さんと一緒に笑った写真を残したい。生まれ変わるならクマムシではなく、やっぱり人間がいい。母さんの子どもで生まれてくる。	骨髄腫(死去)	小学生 中学年 ~	ノンフィク ション(写真 絵本)	322309493	GK/49
22	絵本 はなちゃんのみそ汁	安武 信吾・千恵・はな/原作 魚戸(うおと)おさむ/文・絵	講談社	2015	はなちゃんがつくるおみそ汁は、ママが残してくれたもの。ママは天国に行ってしまったけれど、パパを元気にしたくて今日もおみそ汁をつくります。	母の乳がん (死去)	小学生 ~	ノンフィク ション(絵 本)	323140921	GK/Eㇿ
23	わたし、がんばったよ。 —急性骨髄性白血病をのりこえた女の子のお話。—	岩真 るみこ/文 松本 ぷりっつ/絵	講談社	2015	本書では、急性骨髄性白血病の治療に耐える美咲ちゃんを淡々と描いていきます。家族の支えにより美咲ちゃんが壁を乗り越えていく様子がよくわかります。	子どもの急性骨 髄性白血病	小学校 中学年 ~	—	323796540	GK/916

(がん) 読みもの・詩・作文

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
24	金色のクジラ	岸川 悦子／作 狩野 富貴子／絵	ひくまの出版	1990	ぼくの骨髄が弟ゆういちの中で生きはじめています。ゆういちを乗せた金色のクジラは空を飛ぶ。	子どもの白血病	小学校 中学年 ～	—	313162448	GK/F
25	闇に追われて	モニカ・ヒューズ／作 小池 直子／訳	すぐ書房	1994	狩猟により大鹿の角を手にとると意気込む15歳のマイク。しかし、白血病であることを知り、死への恐怖とマイクだけの闇の世界に陥っていきます。「人は生を懸命に生きぬいていつか終着駅(死)にたどり着く」ことが生きる本当の意味と悟るマイクは、闇を受け入れます。友人タグの存在もマイクの心の支えとなります。	子どもの白血病	中学生 ～	—	314366766	GK/933
26	またね	大谷 美和子／作 岡田 まりゑ／画	くもん出版	1995	母が乳がんで入院した1カ月で麻実人は人が生きること、死ぬことの意味を、母と同室で入院していた西中さんに教わります。死んだ人は戻ってこないけれど、心の中で「またね」と感じることができます。	母と同室だった 女性の乳がん	小学校 高学年 ～	—	314864984	GK/F
27	ヒース咲く丘のホスピスから	レナーテ・ヴェルシュ／作 松沢 あさか／訳	さ・え・ら書房	1996	少女ニッケルは、夏休みの間、がん患者の祖母グランニーの見舞いのためイギリスのホスピスを訪ね、グランニーのそばについて生活を始めます。ニッケルは死に対する恐怖心がありましたが、祖母グランニーの性質を受け継ぐ自分の存在によって祖母が生き続けることを父から聞かされます。ニッケルの訪問は両親から祖母への引き継がれる命のプレゼントなのです。	祖母のがん(死去)、 子どもの骨 のがん(死去)	中学生 ～	—	314895400	GK/943
28	ぼく、とうさんの足になる	岸川 悦子／作 安永 幸夫／絵	大日本図書	1996	お父さんがぼくの誕生日にプレゼントしてくれたペンギンロボットのペン太。お父さんが入院していてもペン太と一緒にだからさみしくなかった。「ペン太もいらない、だからだから、とうさん帰ってきてよ！」	父の骨のがん	小学校 中学年 ～	—	315120543	GK/F
29	天使のいる教室	宮川 ひろ／作 ましま せつこ／画	童心社	1996	天使のような女の子あきこちゃん。1年2組のみんなもあきこちゃんが大好きです。みんながうたう「ぼくのひこうき」、あきこちゃんも一緒にうたっています。	父のがん(死去)、 子どものが ん(死去)	小学生 中学年 ～	—	315136747	GK/F
30	あやちゃんのスケッチブック	白根 厚子／作 藤本 四郎／絵	新日本出版社	1997	短い命だったとしても精一杯生きたあやちゃんだから、いつまでもみんなの心の中にあやちゃんがあります。姉の美咲ちゃんにはピッピちゃんに乗った笑顔のあやちゃんが見えるのです。	子どもの急性リン パ性白血病	小学校 中学年 ～	読みもの(ノ ンフィクション)	315175083	GK/F
31	アンネがいたこの一年	ニーナ・ラウプリヒ／作 松沢 あさか／訳	さ・え・ら書房	1997	主人公の女の子ザビーネは、親友アンネが白血病で亡くなった後、アンネとの1年をノートに書き記します。ザビーネは子どもが「がん」になることを腹立たしく思い、アンネが治療に耐えていることがとても切なく感じます。「死は終わりではない」というアンネの思いは、ザビーネたちにとって命と向き合うことへの問いかけとなります。	子どもの白血病 (死去)	中学生 ～	—	315331975	GK/943
32	ダギーへの手紙 —死と孤独、小児ガンに立ち向かった子どもへ—	E・キューブラー・ロス／文 アグネス・チャン／訳 はらだ たけひこ／画	佼成出版社	1998	がんと向き合う9歳の男の子へ、精神科医のエリザベスが「いのちと死」についての問いかけに手紙で答えます。人生の学校を卒業すれば死をむかえることとなります。	子どもの脳腫瘍 (死去)	小学校 中学年 ～	—	315354704	GK/11

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
33	生命の炎は高く 一癌に生きる少年たち―	マーク・シュライバー／作 長友 恵子／訳	借成社	2000	脳腫瘍にかかった16歳の少年ライアンは、サマーキャンプで白血病であるロバートと知り合いますが、ロバートは死んでしまいます。悲しみを受け入れ、今の自分を大切に生きていかなければならないと、ライアンは学びます。	子どもの脳腫瘍・ 子どもの白血病 (死去)	中学生 ～	—	315752204	GK/933
34	さよなら、ママ	エリザベス・ツェラー／作 清水 美子／訳	徳間書店	2000	13歳の女の子ドードーは、母親が乳がんで闘病する中、「死」について考え、日記にその感情を綴っていく。ママを失ってしまう恐怖、だけどママは私の中で生き続けていく。子どもが母親の生きた証となって歩み続けます。	母の乳がん (死去)	中学生 ～	—	315776112	GK/943
35	天使たちのたんじょう会	宮川 ひろ／作 ましませつこ／画	童心社	2000	あきこちゃんが星になってからも、1年2組はあきこちゃんの誕生会を開いています。姿は見えないけれど、あきこちゃんがいつも見守ってくれていることを1年2組のみんなは分かっているのです。	子どものがん(死去)、 母の胃がん (死去)	小学校 中学年 ～	—	315778621	GK/F
36	イルカパワーできみは生きてる!	早川 真知子／作 伊藤 重夫／絵	文研出版	2001	イルカと泳ぎたい俊輔くんの夢は実現して、イルカから生きる力をもらいます。自分の夢をかなえる幸せが、“生きるキーポイント”なのです。	子どもの急性リン パ性白血病	小学校 高学年 ～	—	315883165	GK/F
37	電池が切れるまで ―子ども病院からのメッセージ―	すずらん会の会／編	角川書店	2002	長野県立こども病院で長期入院している子どもたちの詩と作文集です。重い病気と向き合って精一杯生きる子どもたちの思いが言葉になってあふれています。	子どもの病気	小学生 ～	詩・作文	320306285	GK/378
38	死ぬのは、こわい?	徳永 進／著 谷川 俊太郎／詩	理論社	2005	「野の花診療所」を舞台に、院長が中学2年生の夢二と一緒に「死」について考えます。診療所には末期のがん患者さんなどが入院していて、それぞれの死を迎えます。死に直面する夢二は、ばく(院長)の「死の案内人」となっている。	胃がん・多発性 骨髄腫・乳がん など	中学生 ～	—	320781685	GK/49
39	ちいさな天使とデンジャラス・パイ	ジョーダン・ソーネンブリック／著 池内 恵／訳	主婦の友社	2006	5歳の弟ジェフリーが白血病であることがわかり、ステューブンの家族の生活は一変。世界で一番うとうしいのが弟だが、病に耐えるジェフリーを深く思うようになっていきます。あらゆる課題にストレスを募らすステューブンはガレー先生に「変えられることを見つけて行動を起こしてみたら」と言われ、自分の心を変化させていきます。髪の毛の抜けたジェフリーのためにステューブンとバンドメンバーの友人がみんな丸坊主になって心をついにしていきます。	子どもの急性リン パ性白血病	中学生 ～	—	320797285	GK/933
40	16歳。死ぬ前にしてみたいこと	ジェニー・ダウナム／著 与田 亜香子／訳	PHP研究所	2008	命に時間がない16歳の少女テッサは「ちゃんと生きてからじゃないと死ねない」と、「したいことリスト」を実行していきます。最期に家族へ向けた愛情と恋人アダムへの深く愛する気持ちが未来のない命の無念さを一層感じさせます。テッサは「葉っぱを失っていく木みたい」と死に近づく自分を表現していますが、人が死を迎える前の状態を深く描写しています。	子どもの急性リン パ性白血病	中学生 ～	—	321164550	GK/933
41	永遠に生きるために	サリー・ニコルズ／作 野の水生(ののみお)／訳	借成社	2009	白血病である11歳のサムは、自分の死についてしっかりと受け止めた上で、「誰にも答えられない質問」を設定して答えを求め続けます。その中で特に、子どもたちが病気で死ぬことについて強く疑問を抱きます。	子どもの急性リン パ性芽球性白血病(死去)	中学生 ～	—	322244120	GK/933

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
42	ドーン・ロシエルの季節1 —さよならの贈りもの—	ローレイン・マクダニエル／作 日当 陽子／訳	岩崎書店	2010	ドーン・ロシエルは13歳のとき白血病と診断されます。入院生活ではルームメイトのサンディと親友になり、お互いに支え合っていきます。ある日、「サンディ ナクナル」の知らせにドーンは泣き尽くしますが、サンディが残した日記により、サンディの分まで自分の「季節」をしっかりと生きようと思うのです。	子どものリンパ性白血病(死去あり)	中学生～	—	322228479	GK/933
43	ドーン・ロシエルの季節2 —ふたつのバースデー—	ローレイン・マクダニエル／作 日当 陽子／訳	岩崎書店	2010	ドーンは、骨髄検査の結果、白血病が再発していることが分かり兄のロブから骨髄移植を受けることになります。危篤状態になったドーンにロブは「目を覚ますんだ!」と叫び続け、ドーンにその声が届いて死の世界から生還します。ドーンには生きようとする強い意志があったのです。	子どものリンパ性白血病	中学生～	—	322228487	GK/933
44	ドーン・ロシエルの季節3 —いつまでも忘れない—	ローレイン・マクダニエル／作 日当 陽子／訳	岩崎書店	2010	ドーンは、反抗的な13歳の少女マーリーと出会います。マーリーは内臓にできるがんが片目を失っています。ドーンは見捨てずマーリーに接することで、マーリーは心を開いていきます。再び入院したマーリーはドーンに会いたいと懇願し、ドーンはマーリーの祖母から限られた命であることを聞かされます。親友のサンディ、妹のようなマーリーが自分を残して逝ってしまうことにドーンは嘆きます。	子どものリンパ性白血病・子どものがん(死去)	中学生～	—	322233966	GK/933
45	ドーン・ロシエルの季節4 —いのちの光あふれて—	ローレイン・マクダニエル／作 日当 陽子／訳	岩崎書店	2011	治療を受けることで将来に不安を抱くドーンに母は「あなたは生きているの。それだけで価値がある」と励まします。医師のベン先生からドーンに“他人の世話を焼く才能がある”と伝えられ、ドーンは医師を目指すこととなります。ドーンの「残りの人生の第一日目」が始まりました。	子どもの急性リンパ性白血病	中学生～	—	322251778	GK/933
46	さよならを待つふたりのために	ジョン・グリーン／作 金原 瑞人・竹内 茜／訳	岩波書店	2013	甲状腺がんが肺にも転移している16歳の少女ヘイゼルは、骨肉腫で片足を失っている17歳の少年オーガスと出会い、二人は愛し合います。限られた時間の中でも、ヘイゼルはオーガスから永遠をもらい、オーガスはヘイゼルと出会い愛したことを「運がいい」とお互い深い愛になっていきます。大人になれないことはわかっている二人ですが、お互いのために今を生きる姿が輝いています。	甲状腺がん・骨肉腫	中学生～	—	322177221	GK/933
47	さよなら、ママ	キャロル・ガイトナー／著 藤崎 順子／訳	早川書房	2016	13歳の女の子コリーナは、ママをがんで亡くしたことで、これまでの生活を根底から変えてしまいます。さびしくてつらい日々が続く、パパまで死んでしまったらと不安になります。時間の経過とともに、コリーナはママの死を乗り越えていけるのでしょうか。	母のがん(死去)	中学生～	—	323161083	GK/933

(がん) 絵本

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
48	がんとたたかう子どもたち —1日1日を精いっぱい生きる—	トーマス=ペレイマン／写真 文 石井 登志子／訳	偕成社	1989	白血病になった子どもの苦しい治療の様子が写真を通じてリアルに伝わってきます。そこには、子どもを支える家族と医師、看護師の姿があります。	子どもの白血病	小学生 ～	写真絵本	313549586	GK/49
49	チャーリー・ブラウンなぜなんだい？ —ともだちがおもい病気になるまで—	チャールズ・M・シュルツ／作 ポール・ニューマン／まえがき 細谷 亮太／訳	岩崎書店	1991	白血病になったジャニスをライナスは心配でなりません。しかし、ジャニスを特別扱いと言って非難する人もいます。病気になる友だちのつらさを分かってあげることは大切なことなのです。	子どもの白血病	小学生 ～	—	313778383	GK/933
50	ぼくのいのち	細谷 亮太／作 永井 泰子／絵	岩崎書店	1999	病気が治った友だち。治らなかった友だち。みんな大事な大事な仲間。そして今ぼくは、命の重さを知る。	子どもの白血病	小学生 ～	—	315650861	GK/Eセ
51	夢はいのち —病気の子どもたちとメイク・ア・ウィッシュ—	清水 久美子／作 ウィッシュチャイルド／絵	騒人社	2001	1980年にアメリカで始まったメイク・ア・ウィッシュ運動。難病の子どもの夢を実現するために支える大勢の心が原動力となります。病気と闘う子どもたちのために君ができることを考えてほしい。	子どもの難病	小学生 ～	—	315882738	GK/36
52	水平線の向こうから	堂園 晴彦／文 葉 祥明／絵	PHP研究所	2002	“お母さんが死んでも海の向こうにいる。触れられないけれど、感じることはできる。そして心の中にいる。”	母のがん (死去)	中学生 ～	大人向け 絵本	320063894	GK/E
53	レアの星 —友だちの死—	パトリック・ジルソン／文 クロード・K・デュボア／絵 野坂 悦子／訳	くもん出版	2003	ロビンは、レアの好きだった青くて小さい星に「レアの星」と名前をつけました。「どんな星よりかわいい星なんだ」と、ママと一緒にいつまでもレアの星をみつめていました。 細谷亮太氏の「デス・エデュケーション（死の準備教育）」について解説があります。	子どものがん (死去)	小学生 ～	—	320313299	GK/Eセ
54	いのちのいろえんぴつ	こやま 峰子／文 豊島 加純／詩・絵 マイケル・グレイニエツ／絵	教育画劇	2006	加純ちゃんは、脳腫瘍で右手が動かなくても、詩と絵で気持ちを伝えます。自分が大変であっても人を気づかう心は素敵です。	子どもの脳腫瘍 (死去)	小学生 ～	—	320792237	GK/916
55	もうすぐママは星になる —がんの母親とジェミー—	スー・ローソン／原作 レベッカ・ウィーラー／絵	汐文社	2007	元気な時のママ、がんになったママ、どちらのママも「ほんとにほんとに好きだよ」。	母のがん	小学生 ～	—	321126732	GK/E
56	おかあさんが乳がんになったの	アビゲイル・アッカーマン／文・絵 飼午 万里(かいご まり)／訳	石風社	2007	本書は、アメリカの11歳と9歳の姉妹が、母親が乳がんになった体験を文と絵をまじえて本にしたものです。がんと向き合う中で、周囲の人の愛情を受けたり、家族の絆を育んでいく姿を前向きにつづられています。	母の乳がん	小学校 高学年 ～	—	321128530	GK/936
57	おかあさんだいじょうぶ？	乳がんの親とその子どもためのプロジェクト ／作 黒井 健／絵	小学館	2010	「おかあさん しらないよね」。はやく元気になってほしい。ぼくはおかあさんを、ぎゅーってした。	母の乳がん	幼児～	—	322217100	GK/E
58	いちばんのおくすり	ジュリー・アイグナー・クラーク／作 ジャナ・クリスティ／絵 なかがわ ちひろ／訳	金の星社	2011	ママはがんの病気になったの。怖くてつらいときは、いつも一緒だった娘のあなたを思い出します。あなたがいてくれて本当によかった。ママは必ずよくなって言います。「いちばんのおくすりはあなただったのよ」って。	母のがん	幼児～	—	322277716	GK/E

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
59	ママのパレッタ	たなか さとこ／絵・文	生活の医療社	2018	がんになったママは、抗がん剤で髪が抜けてしまい、パレッタが使えなくなりとっても悲しそう。だけどママには生きていてほしい。ただそれだけ。	母のがん	小学生 ～	—	324038769	GK/E
60	しろさんのレモネード屋さん	まつざき まさみ／ぶん やはら ゆうこ／え	吉備人出版	2018	しろさんは9歳の男の子。自分が小さいころになった小児がんをもっと知ってもらい、みんなが元気なる薬を作ってもらうためにレモネードスタンドを開きます。	小児がん	小学生 ～	—	324039908	GK/E
61	ぼくはレモネード屋さん	えいしま しろう／文・絵	生活の医療社	2019	3歳の時に脳腫瘍になったぼくは小学3年生。ぼくは、小児がんのすべてが治って、みんなが笑顔で元気になるようにレモネードスタンド開いています。 作者は、小学6年生（2019年現在）。3歳のときに脳腫瘍を発症し治療。「みんなのレモネードの会」を家族と立ち上げ、小児がんについて広く知ってもらう支援活動等を行っています。	小児がん (脳腫瘍)	小学生 ～	—	324045459	GK/E
62	ママはかいぞく	カリーヌ・シュリュグ／ぶん レミ・サイヤール／え	光文社	2020	「ぼくのママはかいぞくなんだ」。宝の島を目指して冒険をするママ。戦いで胸に傷ができたり、船が揺れて気分が悪くなることもあるけれど、少しずつ宝の島に近づいていきます。 がんの治療について、子どもたちが安心できるように、かつ曖昧にせずに伝えたいと作られた絵本です。暗くなりすぎることなく、副作用についても現実に沿って描かれています。	母の乳がん	小学生 ～	—	324062470	GK/E

限りある命を考える

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
63	よあけ	ユリー・シュルヴィッツ／作・画 瀬田 貞二／訳	福音館書店	1977	夜明けとともに新しい朝が始まります。太陽の光が姿をみせはじめ、やがて景色の中に人を包み込んでいきます。	—	幼児～	絵本	322240508	GK/E
64	はるにれ	姉崎 一馬／写真	福音館書店	1981	季節は変われど“はるにれ”の木は凛として立っています。言葉はなくても、そこに立ち続ける姿を私たちに示してくれます。	—	幼児～	写真絵本	315367094	GK/E
65	かぜは どこへいくの	シャーロット・ゾロトウ／さく ハワード・ノッツ／え まつおか きょうこ／やく	偕成社	1981	おしまいになってしまうものは、なんにもない。終わることは新しく何かが始まることなのです。	—	小学生～	絵本	322202706	GK/E
66	アニーとおばあちゃん	ミスカ・マイルズ／作 ピーター・バーノール／絵 北面ジョーンズ和子／訳	あすなろ書房	1993	「わたしは母なる大地に帰っていく」とおばあちゃんが言った意味は、インディアン少女アニーにも分かった。おばあちゃんの時間を取り戻したいアニーにおばあちゃんは「生きているものはすべて大地から生まれて大地に帰っていく」と言います。	—	小学生～	絵本	314366220	GK/E
67	あの夏	ガブリエル・パンサン／作 もりひさし／訳	ブックローン出版	1995	旅立っていった友人のガズーとの思い出をたどり、クマのアーネストとネズミのセレスティーヌはガズーと一緒に行った場所に出かけ、いつか二人はもとの明るさを取り戻しました。まるでガズーと一緒にいるかのように。	—	小学生～	絵本	314764739	GK/E
68	ぶたばあちゃん	マーガレット・ワイルド／文 ロン・ブルックス／絵 今村 葦子／訳	あすなろ書房	1995	ぶたばあちゃんの死が静かにおとずれようとしています。孫むすめはぶたばあちゃんのそばにいたくて、ばあちゃんを抱きしめます。近い別れが切ないですが、ぶたばあちゃんと孫むすめは深い愛情で結ばれています。	—	小学生～	絵本	314880345	GK/E
69	ナヌークの贈りもの	星野 道夫／写真・著	小学館	1996	厳しい自然界で消えゆく命への祈りが、氷の世界の王者シロクマ(ナヌーク)と狩人との言葉のつながりとなる。	—	小学生～	写真絵本	322238650	GK/E
70	ずーっとずっとだいすきだよ	ハンス・ウィルヘルム／絵と文 久山 太市／訳	評論社	1998	命には終わりががあります。でも「ずーっと、ずっと、大好きだよ」という思いは永遠なのです。	—	幼児～	絵本	315143156	GK/E
71	葉っぱのフレディ —いのちの旅—	レオ・バスカーリア／作 みらい なな／訳 島田 光雄／画	童話屋	1998	この世に生まれてくれば、いつか死が訪れます。これは、まぎれもなく自然なことなのです。また新しい命が生まれ、命が永遠につながっていくのです。	—	小学校 中学年～	読みもの (絵本)	315410225	GK/933
72	ポケットのなかのプレゼント	柳沢 恵美／著	柳沢徹 ラ・テール出版局	1998	ウサギの森では、子どもの誕生日に大切なプレゼントを入れるため、お母さんは新しいポケットを縫い付けます。ポケットにあるプレゼントは、子どもの成長を見守るお母さんの愛情が詰まっています。そしてまた、その愛は次の世代に継がれていくのです。	—	小学生～	読みもの (絵本)	315755025	GK/F
73	いのちの時間 —いのちの大切さをわかちあうために—	ブライアン・メロニー／作 ロバート・イングベン／絵 藤井 あけみ／訳	新教出版社	1998	いのちには、はじまりがあっておわりがあります。その間を生きることで、いのちの時間となります。死は悲しいことだけど、すべてのいのちに約束されたことなのです。	—	小学生～	絵本	322261306	GK/E

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
74	さよならエルマおばあさん	大塚 敦子／写真・文	小学館	2000	最後まで家で暮らして延命治療はせず、静かに死んでいくことを決断したエルマーおばあさん。命ある以上、必ず訪れる死。人が死に向かう姿を写真で克明に記録しています。そして、エルマーおばあさんの魂は別の世界へ旅立ちました。	多発性骨髄腫	小学生～	写真絵本	316119155	GK/999
75	たいせつなこと	マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく レナード・ワイズガード／え うちだややく／やく	フレーベル館	2001	自然の中にあるものには、大切な意味があります。人もそう、あなたはあなたとして存在することが大切なのです。	—	小学生～	絵本	320821119	GK/E
76	岸辺のふたり	マイケル・デュドク・ドウ・ヴィット／作 うちだ ややく／訳	くもん出版	2003	帰らぬ父への思い。長い時が過ぎ、年老いた少女は父と別れた土手へと今日も向かう。土手に降りた彼女は何か気配を感じ、あの時の少女はあの時のままに父のもとへと駆け出した。	—	小学校 中学年～	読みもの (絵本)	320080369	GK/72
77	命のノート —ぼくたち、わたしたちの「命」についての12 のお話—	細谷 亮太／著	講談社	2006	小児がんの専門医である著者が、天国に行った子どもたちからもらった貴重な体験をもとに、両親から生まれてくる命の尊さやはかなさを語ります。	小児がん	中学生 以上	読みもの	320803539	GK/49
78	だいじょうぶだいじょうぶ	いとう ひろし／作・絵	講談社	2006	ぼくがいつも困ったり心配になれば、おじいちゃんはぼくの手を握り「だいじょうぶ だいじょうぶ」とつぶやいてくれた。だから、ぼくは、どんなことがあっても「だいじょうぶ だいじょうぶ」。おじいちゃんはずいぶん歳をとりました。今こそ、ぼくがおじいちゃんの手を握り「だいじょうぶ だいじょうぶ」とくりかえします。	—	小学生～	絵本	321110736	GK/E
79	おじいちゃんのごらくごらく	西本 鶏介／作 長谷川 義史／絵	鈴木出版	2006	おじいちゃんはお風呂に入るといつも「ごらくごらく」と言うのがロクせです。温泉へ行くはずだったのに、おじいちゃんが入院してしまう。きっと、おじいちゃんは元氣なって帰ってくるよね。	—	小学生～	絵本	322598236	GK/E
80	いつだってスタートライン —杉本深由起詩集—	杉本 深由起／作	理論社	2007	優しい言葉が心を清らかで柔らかかに和ませてくれます。恥ずかしくて、つらくて、がっかり落ち込んだ自分、そうだ！生きている命の最・先・端なんだ。何も遅すぎることはないのです、心の中で「ようい どん」、いつだってスタートライン。	—	小学生～	詩集	321207128	GK/911
81	くまとやまねこ	湯本 香樹実／ぶん 酒井 駒子／え	河出書房新社	2008	大切な人が亡くなった悲しみは深くても、自然の恵みや理解してくれる人との出会いによって、心を少しづつ前に進めてくれます。	—	小学生～	絵本	321203846	GK/E
82	あの犬が好き	シャロン・クリーチ／作 金原 瑞人／訳	偕成社	2008	時間をかけて自分の気持ちを整理して詩にする。主人公ジャックは愛犬スカイを亡くした気持ちを詩にします。「あの犬が好き」「おい、スカイ！」。	—	小学校 高学年～	詩	321213274	GK/931
83	だんろのまえで	鈴木 まもる／作・絵	教育画劇	2008	山で道に迷ったぼくに、だんろの前に座っているうさぎが「つかれたらやすめばいいんだ。むりしないでじっとしていればげんきになるさ」と言います。疲れたら少し立ち止まる時間も必要なのです。	—	小学生～	絵本	321213290	GK/E
84	きずついたつばさをなおすには	ボブ・グラハム／さく まつかわ まゆみ／やく	評論社	2008	傷ついたハトに手を差し伸べ看病する幼い男の子ウィル。ウィルの手を離れた鳥は……。	—	小学生～	絵本	321215204	GK/E

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
85	つみきのいえ	加藤 久仁生／絵 平田 研也／文	白泉社	2008	おじいさんは一人暮らし。海の中の昔の家には、亡くなったおばあさんとの思い出がたくさん詰まっています。その思い出を心におさめて、つみきのいえに住み続けます。	—	小学生 ～	絵本	322210121	GK/E
86	あさになったのでまどをあけますよ	荒井 良二／著	偕成社	2011	窓のむこうにいつも見る朝の風景。やっぱりここが好き。この景色の中に身を置いてみる、すべて自然のままに。	—	小学生 ～	絵本	322125477	GK/E
87	3つのなぞ	ジョン・J.ミユース／作 三木 卓／訳	フレーベル館	2012	人のために無意識にする行動が、人として大事なことに通じていきます。大事な今この時を、大事な人のために生きよう。	—	小学生 ～	絵本	322285438	GK/E
88	その景色をさがして	中山 聖子／著	PHP研究所	2018	中学2年生のトーコちゃんは、ママが死んで普通の日々がどんなに幸せなものなのか気づく。ママがどうしても見せたいと言いつ残した景色に向かうトーコちゃん。「一緒に来たかったね、一緒に来たかったよ。」	母の病気 (死去)	中学生 ～	読みもの	323214411	GK/F
89	えがおをわすれたジェーン (子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ)	ジュリー・カプロー、ドンナ・ピンカス／作 ベス・シュピーゲル／絵 亀岡 智美／訳	誠信書房	2019	パパが死んでしまい、笑顔を失ってしまった女の子ジェーン。だけど、大好きなパパとの楽しいときを思い出すと、パパがいつもそばにいてくれる。親を失った子どもの心理的反応等についての解説があります。	—	小学生 ～ (大人)	絵本	323849448	GK/E
90	12歳で死んだあの子は	西田 俊也／作	徳間書店	2019	小学校の卒業式前に白血病で亡くなった鈴元(すずもと)くんのお墓に行くことをクラスメイトだった須藤くんたちが計画します。友だちや鈴元くんの家族の話を知ると、鈴元くんの思い出がよみがえります。死は終わりではなく、鈴元は今も親友なのです。	子どもの白血病 (死去)	中学生 ～	読みもの	324039593	GK/F
91	折れない心を育てるいのちの授業	小澤 竹俊／著	KADOKAWA	2019	中学2年生のユキちゃんは、大好きなおじいちゃんの死と向き合えなかったことに苦しみます。おじいちゃんが亡くなってから「死ぬこと」「生きること」についてずっと考えてきた結果、医師であるめぐみ先生の大切な学びもあって、今生きている自分ができることで他の誰かが喜んでくれることが本当の幸せであることを学びます。著者は緩和ケア専門のホスピス医で学校を中心に「いのちの授業」を展開しています。	祖父の肺がん (死去)・同級生の母のがん	中学生 ～	読みもの	324042993	GK/159.7

がんの知識

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
92	難病の子どもを知る本1 —白血病の子どもたち—	稲沢 潤子／文 山城 雄一郎・茂木 俊彦／監修 石本 浩市・難病のこども支援全国ネットワーク／編 オノピン・田村 孝／絵	大月書店	2000	白血病になる原因や治療、闘病する子どもや家族への支援内容について解説しています。また、がんになった友だちとどのように接すればいいのかなど、周囲の支えの必要性についても示されています。	子どもの急性リンパ性白血病・急性骨髄性白血病	小学生 高学年～	—	315755058	GK/49
93	がんのひみつ (学研まんがでよくわかるシリーズ89)	田川 滋／漫画 橋 悠紀／構成 独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「ソーシャルマーケティングを活用したがん予防行動およびがん検診受診行動の普及に関する研究(23-A-5)」担当者:溝田 友里、山本 精一郎、澤田 典絵、福吉 潤／企画・制作・監修	学研パブリッシング コミュニケーションビジネス事業室	2013	子どもたちが「がん」について正しい知識を持つために、まんがのストーリーで、がんのしくみ・予防・治療についてわかりやすく解説しています。	—	小学生～	—	326910130	GK/49
94	パパやママががんになったら —チャイルド・ライフの出会いから—	藤井 あけみ／著	新教出版社	2015	著者は病気の子どもやその家族を心理社会的に支援するチャイルド・ライフ・スペシャリスト。生きることと命について考え、子どもを一人の人格として尊重する対応を詳しく説明しています。	—	大人	—	323301440	GK/490
95	ある日、お父さんお母さんががんになってしまったら	Ann Couldrick／原作 阿部 まゆみ／訳・編集 湯浅 満里子／イラスト	PILAR PRESS	2016	お父さん・お母さんが「がん」になった子どもが、がんをどのように理解すればよいのか、また、子どもを持つがん患者の子どもへの対応をやさしく解説します。	—	小学生～	—	323168211	GK/49
96	生活習慣の改善でがんを予防する5つの法則	津金 昌一郎／監修	日東書院本社	2017	がん細胞や部位別がんの基礎知識、生活習慣に関わるがん予防についてわかりやすく解説しています。	—	高校生～	—	323479378	GK/492
97	子どもと一緒に知る「がん」になるってどんなこと?	林 和彦／編著	セブン&アイ出版	2017	医師である著者は、子どもたちに正しいがん情報を伝えて命の大切さを知ってもらうことを目的に、「がん教育」に取り組んでいます。3つの実話をもとに、がんになった親の思いや子どもの気持ちなど、「心」の部分についても触れています。	—	高校生～	—	323490664	GK/495
98	0歳からのがん教育 —かわいいお子さんの将来のために—	笹井 啓資／著	ロギカ書房	2017	本書は、将来子どもが「がん」で苦しまないために、お父さん・お母さんができるがん予防を中心に解説しています。「子どもは親を見て育つ」を前提にして、親の生活習慣の改善を提案しています。	—	高校生～	—	323591883	GK/492
99	学校の保健室3 —先生ががんになっちゃった!—	宇津木 聡史／文 河村 誠／絵	星の環会	2017	大輝と美咲は保健室の田中先生に導かれて、がんになった大野先生の体へと冒険します。がんになる仕組み、治療の内容、患者さんへのケアなど、田中先生が詳しく教えてくれます。がんを早期発見できれば治ることも多いのです。	—	小学校 中学年～	—	323829408	GK/49
100	がんになった親が子どもにしてあげられること	大沢 かおり／著	ポプラ社	2018	親としてがんであることを子どもに伝えることは難しい。しかし、子どもを家族の一員として尊重し、がんを家族で共有することで、子どもは多くを学び人生を力強く歩み始めるのではないかと。がんの進行と子どもの成長との段階に応じた伝え方を解説しています。	—	高校生～	—	323577171	GK/495

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	コメント	病名	対象	備考	資料コード	請求記号
101	学校におけるがん教育の考え方・進め方	植田 誠治／編著 物部 博文・杉崎 弘周／著	大修館書店	2018	国民、児童生徒のがんに対する知識や意識の実態と、学校におけるがん教育の位置づけと実態について解説しています。親をがんで亡くした、がん患者であったりする児童生徒への配慮(グリーンケア)についても解説があります。小・中学校、高等学校でのがん教育の指導案を掲載しています。	—	大人	—	323714048	GK/375
102	よくわかる がんの話1 —がんってどんな病気?—	林 和彦／著	保育社	2019	数字で知るがんの病気やがん予防の12か条など、イラストを用いて分かりやすく解説しています。また、各部位のがん検診の内容やがん情報の集め方についても説明しています。索引あり。	—	小学生 高学年 ～	—	324045947	GK/49
103	よくわかる がんの話2 —がんの治療と生活は?—	林 和彦／著	保育社	2019	手術・抗がん剤治療・放射線治療やセカンドオピニオン・緩和ケア・患者さんの生活について、イラストと写真を用いて分かりやすく解説しています。索引あり。	—	小学生 高学年 ～	—	324045954	GK/49
104	よくわかる がんの話3 —がんは体のどこにできる?—	林 和彦／著	保育社	2019	各部位のがんについて、症状・検査・治療・転移しやすい臓器など、イラストを用いて分かりやすく解説しています。索引あり。	—	小学生 高学年 ～	—	324045962	GK/49
105	知っておきたい「がん講座」 —リスクを減らす行動学—	中川 恵一／著	日経サイエンス社	2019	がん予防につながる検診の重要性、リスクを減らす生活習慣の必要性、治療法やがんになった時の知恵など、がんについて網羅的に解説されています。「がん教育」の導入を機会に日本人のがんに対する知識や理解力を高めたいとしています。	—	高校生 ～	—	324431956	GK/494
106	がん哲学のレッスン —教室で「いのち」と向きあう—	樋野 興夫／著	かもがわ出版	2020	「がん哲学外来」を創設し、患者や家族の心の痛みに寄り添い、対話を通しての支援を続けている著者。がん哲学を基盤に、がんへの理解を深め、がんとう向き合うかを伝えるがん教育についてわかりやすく説明しています。最後の章では実際に行われたがん教育の一部も記されています。	—	大人	—	324434885	GK/491.6